

FUJITSU 登録無料 ご優待登録キャンペーン

コンバーチブル
スタイルの **タブレットPCが当たる!**
[トップ](#) | [おもしろニュース](#) | [人気ランキング](#) | [動画](#) | [新着ブログエントリー](#) | [MODE PRESS](#) | [Actiblog](#) | [企業リリース](#) | [芸能リリース](#) | [国際支援・援助](#) | [New](#) [投資・マネー](#) | [RSS](#)
[北京五輪](#) | [政治](#) | [経済](#) | [戦争・紛争](#) | [災害・事故・事件](#) | [スポーツ](#) | [エンターテインメント](#) | [韓国エンタメ](#) | [ファッション](#) | [ライフ・カルチャー](#)
[ライフ](#) | [ヘルス](#) | [文化・芸術](#) | [宗教](#)
[トップ](#) > [ライフ・カルチャー](#) > [ライフ](#) > 記事

和歌山電鉄の名物ネコ駅長「たま」、フランス映画に出演

2008年05月26日 13:39 発信地:和歌山 [ブログ](#) [関連情報](#)[前の写真](#) | [次の写真](#)[関連写真 2枚](#)

和歌山電鉄 (Wakayama Electric Railway) 貴志川線貴志駅 (和歌山県紀の川市) で、駅長帽をかぶり改札台に座った9歳の雄の三毛猫「たま」(2008年5月22日撮影)。(c)AFP/Toru YAMANAKA

[記事をクリック](#) | [写真を拡大](#) | [写真をブログにつかう](#)

【5月26日 AFP】忙しい様子を「ネコの手も借りたい」と表現するが、文字通り本当に駅長職にネコの手を借りたのが和歌山電鉄 (Wakayama Electric Railway) だ。和歌山県を走る貴志川線 (Kishigawa Line) の貴志 (Kishi) 駅では、9歳のメスの三毛猫「たま」が駅帽をかぶった姿で乗降客を出迎える。

この「たま駅長」がフランス映画に出演することに決定し、話題を呼んでいる。フランスのドキュメンタリー映画監督ミリアム・トネロット (Myriam Tanelotto) さんによる世界各国のネコの生き方をとりあげた映画『人間の鏡としての猫』に、日本代表としてたまが出演するのだ。

もともと野良猫として生まれたたまは拾われた後、駅隣にある売店の店主に育てられた。今もこの売店から日曜を除く毎日、隣の貴志駅に「出勤」しているという。給料は「エサ」の形で支払われる。

たまが2006年に無人駅となった貴志駅の駅長に抜擢されたのは2007年1月。それ以来、たまの人気は爆発的に急上昇。今では全国的な人気者だ。

和歌山電鉄広報の山木慶子 (Keiko Yamaki) さんによると、たまの駅長就任は「人件費削減対策の一環だった」というが、結果的には「福の神」となった。

人気上昇に伴い、たまは1月、「スーパー駅長」に昇格し、駅長室も与えられた。4月に行われた駅長室の新設式には、中村慎司 (Shinji Nakamura) 紀ノ川 (Kinokawa) 市長や小嶋光信 (Mitsunobu Kojima) 和歌山電鉄社長も出席し、華々しく執り行なわれた。

山木さんの話しでは、和歌山電鉄36人の従業員中、女性の管理職は、ただただという。(c)AFP/Toru Yamanaka